

ストック時代における居住者参加型集合住宅供給の 実現プロセスに関する研究

正会員 田村 誠 邦 君

本論文は、候補者がコーディネータ／コンサルタントとして関わってきた「コーポラティブ方式」、「マンション建て替え」、「建物コンバージョン」などのプロジェクトの実現プロセスを詳細に分析することによって、居住者参加型集合住宅供給事業の現状と問題点を総括し、さらに、それらの推進に向けた課題と今後の展開方策を検討・提言したものである。

建築学の分野では「コーポラティブ方式」はその普及期に多数の研究が行われたが、この方式の実施をめぐる実証的研究はほとんどその実績がない。また、「マンション建て替え」は多くの研究実績があるが、個別性が強いこれらの事業の実施上の課題ならびに建て替え事例の詳細を具体的に扱う研究はあまり行われてこなかった。「建物コンバージョン」ではさらに研究の蓄積が少なく、具体的事例に基づく詳細な分析が求められるところであった。

このような状況下で、本論文は「コーポラティブ方式」、「マンション建て替え」、「建物コンバージョン」を3つの類型として設定し、①居住者参加型集合住宅供給事業を実証的に分析し、それらを通して、②3類型に共通する新しいマネジメント概念を抽出し、③居住者参加型集合住宅供給の実務分野への学際的アプローチによる解決方策を提言している。

本論文は序章、第Ⅰ部（第1章～第3章）、第Ⅱ部（第4章～第6章）、第Ⅲ部（第7章～第9章）、結語から構成されている。

序章では、研究の目的と位置づけ、研究対象と研究方法等を述べている。

第Ⅰ部はコーポラティブ方式による居住者参加型集合住宅供給の実現プロセスに関する研究成果をとりまとめたもので、コーポラティブ方式による居住者参加型集合住宅供給の現状と課題（第1章）、同方式によるプロジェクトの事例研究（第2章）、同方式の課題と今後の展開（第3章）から構成されている。

第Ⅱ部はマンション建て替えによる居住者参加型集合住宅供給の実現プロセスに関する研究成果をとりまとめたもので、わが国におけるマンションの歴史とマンション建て替えの現状（第4章）、マンション建て替えによる居住者参加型集合住宅供給プロジェクトの事例研究（第5章）、同方式の課題と今後の展開（第6章）から構成されている。

第Ⅲ部は建物のコンバージョンによる居住者参加型集合住宅供給の実現プロセスに関する研究成果をとりまとめたもので、建物のコンバージョンの概念と現状およびその実現手順（第7章）、建物のコンバージョンによる居住者参加型集合住宅供給プロジェクトの事例研究（第8章）、同方式の課題と今後の展開（第9章）から構成されている。

結語では、以上の研究の総括として、居住者参加型集合住宅供給の3つの類型による実現プロセスの比較検討を行い、残された課題の整理と今後の展開について考察している。

以上要するに、本論文は、多様な居住者参加型集合住宅供給事業の実施上の課題について、実証的、具体的に対応方策を示し、それらに共通する新たなマネジメント概念を抽出し、学問領域と実務領域を結びつける新たな研究領域を開拓したもので、その意義は高く評価できる。

よって、ここに日本建築学会賞を贈るものである。